

令和2年度全国高等学校教育改革研究協議会

地域社会や大学等と連携・協働した 教育の推進に関する事例紹介

島根県教育庁 教育魅力化特命官
(一財)地域・教育魅力化プラットフォーム代表理事
岩本 悠

高校と地域をつなぐためには**高校から地域に働きかけるコーディネート機能**と、**地域住民との関係を築きながら地域と高校をつなぐコーディネート機能**が必要。

高校・地域の状況により、どのような立場の人材がその役割を果たすかは異なる。

高校における コーディネート機能

- ・ 地域社会と関わる教育課程の企画・運営・支援
- ・ 地域側との連絡調整・情報提供
- ・ 学校への地域資源の活用
- ・ 地域系部活動等の教育課程外の地域探究や活動の支援
- ・ 地域との連携・協働に係る研修の企画・実施など

地域における コーディネート機能

- ・ 地域資源（人・もの・こと・課題等）の掘り起し
- ・ 学校側との連絡調整・情報提供
- ・ 学校外での高校生を含む活動の企画・支援
- ・ 地域留学等新しい人の流れをつくる企画・調整（下宿等含む）
- ・ 卒業生とのつながり構築や活動支援など

協働体制におけるコーディネート機能

- ・ 組織体制の構築・運営（ビジョン・計画づくり、事業・会議の運営等）
- ・ 外部資源獲得（ふるさと納税、寄附等）
- ・ 大学・民間企業等との連携・協働 など

・ 隠岐島前を始め島根県の多くの地域では、中山間地域を中心に複数人の外部人材をCNとして配置（基本的に市町村が雇用）することで、3つの役割を分担しながら担っている。協働体制としては、学校もしくは市町村を単位とするコンソーシアムを構築を進めている。また協働が進む中で、これらの機能の一部を生徒自身が担う場面も出てきている。

・ 飯田市は公民館主事が日々地域に対するコーディネートを中心にしながら、20名中7名が高校に対するコーディネートに関わっている。協働体制は、大きな方向性には広域連合が関わり、具体的な検討は高校のコンソーシアムが担っている。

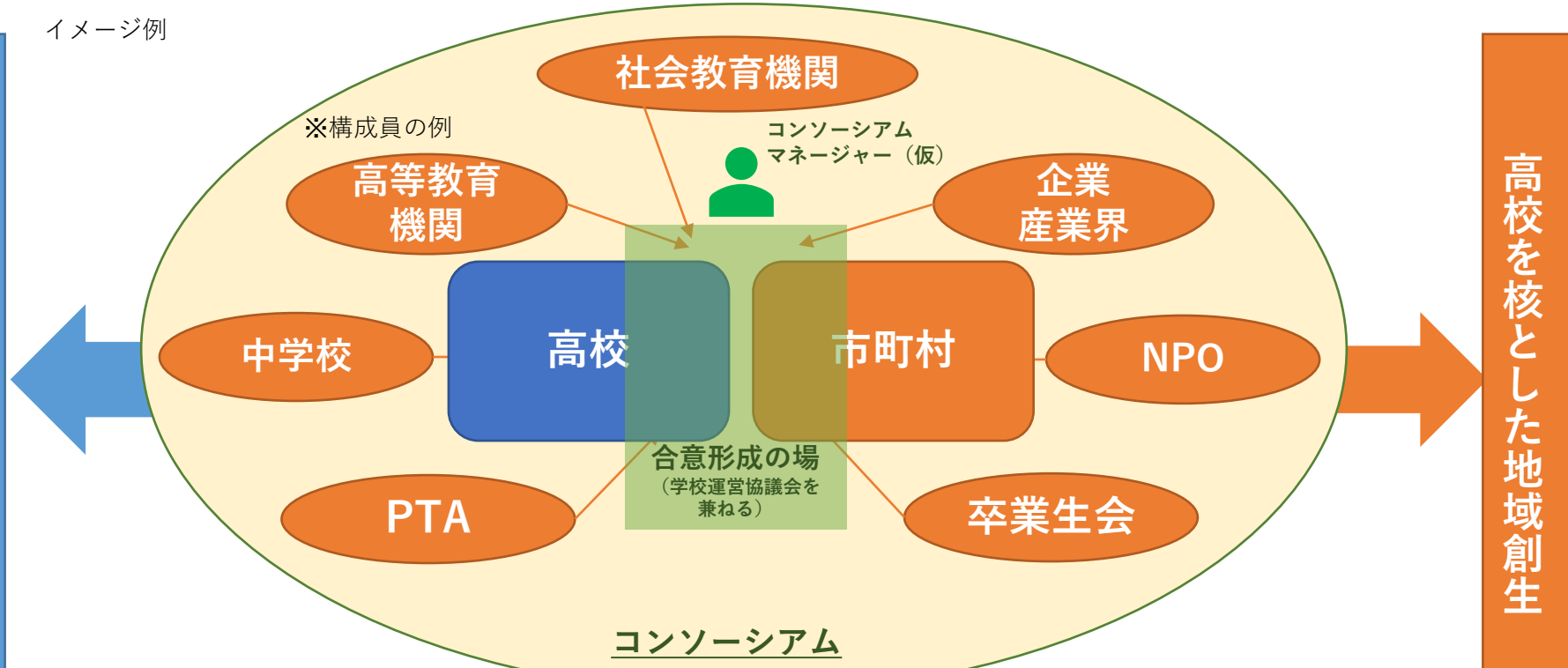
○学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に運用し、「社会に開かれた教育課程の実現」と「学校を核とした地域創生」の好循環の基盤となる**協働の組織体制（コンソーシアム）を構築**。

■コンソーシアムは、ボランティアによる緩やかなネットワークに加え、合意形成と協働活動を一体的かつ安定的・計画的・持続的に行えるようにするための構成員・規約・予算等を有する組織である。

■コンソーシアムの構成員の代表者がコンソーシアムの合意形成の場（学校運営協議会を兼ねることができる）に参加することで、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進が図られる。

■コンソーシアムの構成員は、高校・地域ごとの協働の目的によって柔軟に設定でき、多様な形が考えられる。高校生自身も参加できる機会があることが望ましい。

イメージ例



【コンソーシアムの機能】

- ・協働体制の構築・運営（ビジョン・計画づくり、事業・会議の運営等）、外部資源獲得等の経営的機能
- ・地域との協働による学校運営の改善や地域社会と関わる教育課程の企画・運営・支援等の学校教育的機能
- ・地域資源の掘り起しや学校外での高校生の学習活動構築、地域人材の育成等の社会教育的機能など

総会

合意形成

※学校運営協議会を兼ねることができる

【例】 高校校長、市町村長（副長）、市町村教育長、PTA会長、卒業生会長、関係機関代表、地域住民等

- ・ 高校と地域の協働ビジョン（育てたい子ども像・学校像等）の協議・承認
- ・ 高校と地域の協働に関する事業・活動の目標・計画・予算等の承認・評価
- ・ 都道府県等に対する意見・提案・要望 等

教育活動に関する 部会・チーム

基盤整備に関する 部会・チーム

メンバー例

- ・ 高校教員（主幹教諭・教務主任等）
- ・ 市町村教委担当（社会教育主事・指導主事等）
- ・ 大学・企業・NPO・中学校・PTA関係者 等

- ・ 高校教職員（総務主任・事務室職員等）
- ・ 市町村職員
（企画・地域振興・移住定住・産業関係等）
- ・ 卒業生会・PTA担当者等

協議・活動内容例

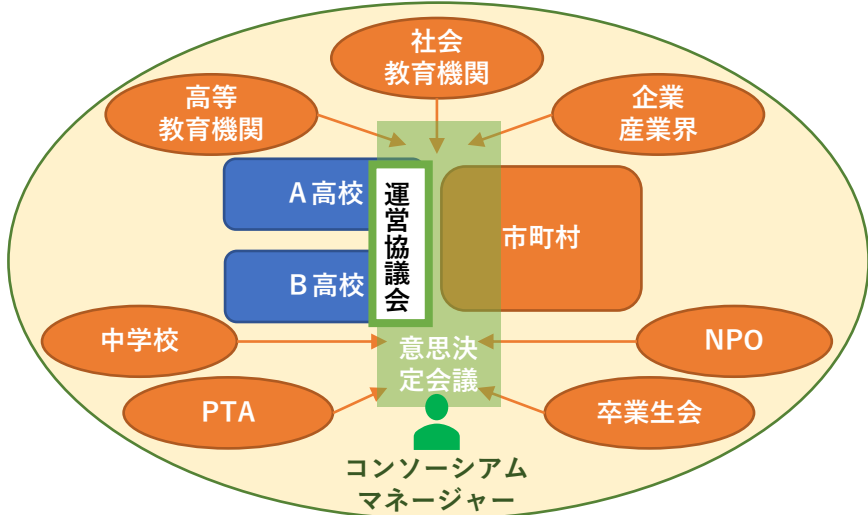
- 教育課程（授業・特活等）における地域社会との協働活動
- 土日・放課後における生徒の地域活動・学習
- 異校種・他校との交流、協働活動、海外留学 等

- ・ 外部資金獲得（ふるさと納税、寄附等）
- ・ 情報発信、生徒募集、全国・海外からの留学等
- ・ 部活動・寮等の運営支援（地域人材活用等）
- ・ ICT等の整備・支援（外部専門家活用等） 等

1市町複数高校の場合のイメージ

①1市町1コンソ（複数校で1つの学校運営協議会）

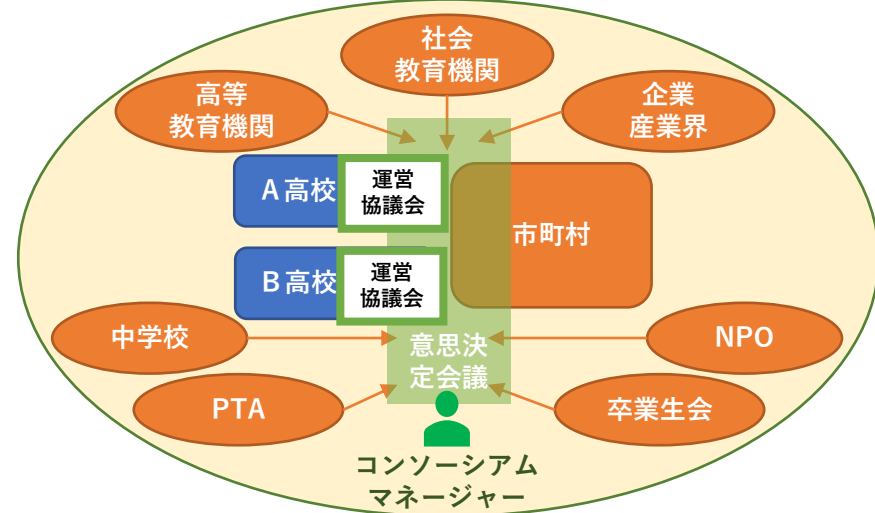
コンソーシアム



②1市町1コンソ（各学校に学校運営協議会）
※高校ごとの特色・独自性が強いケース（専門学科）を想定

コンソーシアム

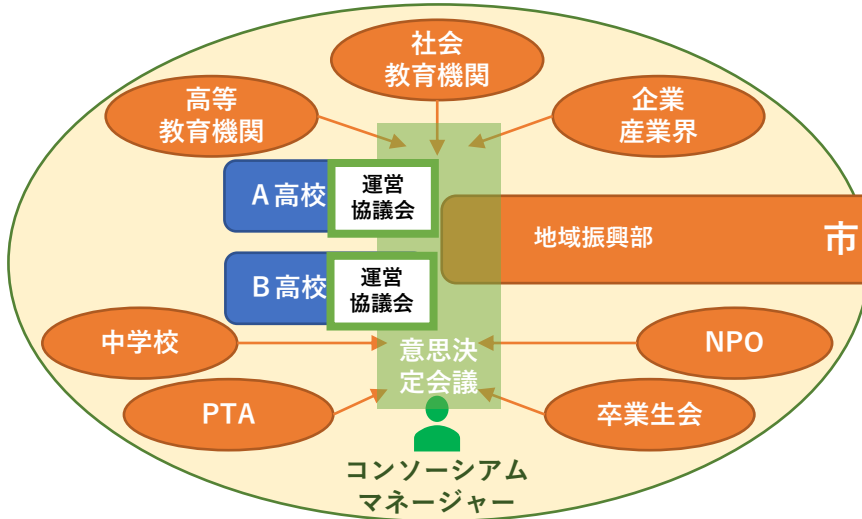
例



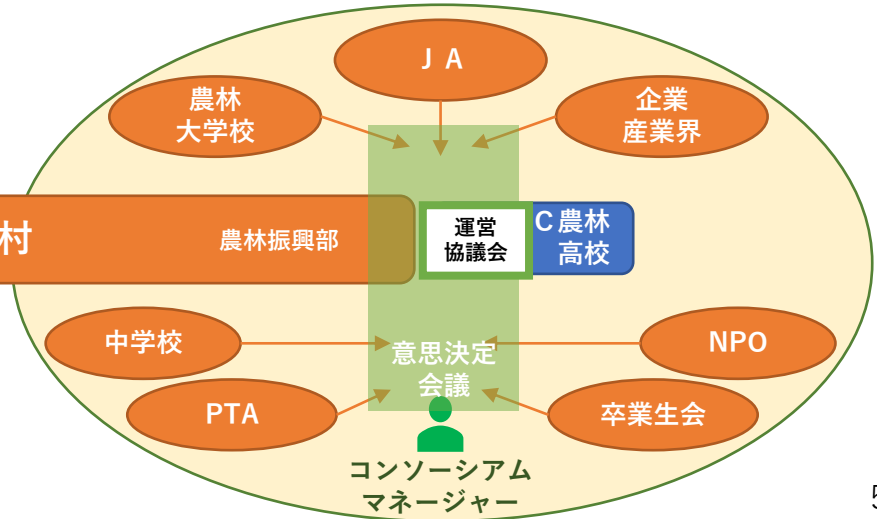
③1市町複数コンソ
※規模の大きな市を想定

コンソーシアム

例



コンソーシアム



高校と地域をつなぐコーディネート機能の充実に向けた各人材の役割整理

「高校と地域をつなぐ人材の在り方に関する研究会」第4回資料より

コーディネート機能の整理		カリキュラムマネージャー（仮）	実習助手の改善...探究助教（仮）	多様な人材が担う
大分類	中分類	マネージャー（設計）	プレイヤー（運用）	ボランティア
高校における コーディネート 機能	カリキュラム（授業）における地域連携	学校や地域の特徴を活かした学校全体のカリキュラムの策定支援・実施体制構築 ・育成したい資質・能力や年間指導計画の策定支援 ・評価方法の設計 ・カリキュラム推進の体制構築 など	定められたカリキュラム内の授業における課題発見解決型学習等の地域連携の企画・実施支援 ・総合的な探究の時間の指導案づくり ・教材作成やファシリテーションなどの運営支援 ・授業における地域人材との連携・調整 など	授業運営のサポートとして参加（授業当日中心） ・探究活動の1グループの活動支援、連携先との調整 など
	生徒会、部活動、学校行事における地域連携	カリキュラムと連動した、年間を通じた活動の企画立案・運営体制構築 ・年間を通じた生徒会活動・部活動・学校行事の再構築 ・必要な運営体制の構築 ・地域連携型部活動の新設 など	顧問等として地域と連携する生徒会活動・部活動の指導 ・生徒会で地域と連携した活動の企画策定支援 ・地域と連携した活動を行う部活動の指導 ・学校行事等地域連携に関連する分掌業務 など	特定の行事・イベント等における地域との連携支援 ・学校行事における地域連携企画、部活動におけるイベント等の企画・実施支援 など
	地域外・海外との連携事業の推進・支援	新たな地域外・海外との連携事業の構築 ・カリキュラムの一環としての新たな海外連携事業構築 など	策定された事業内での活動推進 ・海外巡検やフィールドワーク等の企画・調整 など	特定の連携先との調整 ・特定のフィールドワーク先との詳細の調整 など
	県外や海外など地域外からの生徒募集	募集制度の設計支援・受け入れの環境整備 ・県外生徒募集方針の策定支援 ・説明会や広報などの募集戦略の設計・実施 ・寮や下宿先の整備・調整 など	募集制度運用、受け入れ後の運用 ・県外での説明会での生徒募集、広報活動 ・寮の運営 など	受け入れた生徒と地域の交流支援 ・県外生徒等の地域との交流にかかる情報提供 ・個別の交流機会の提供 など
地域における コーディネート 機能	学校外での学習環境整備、活動機会の推進・支援	放課後・土日等学校外での新たな学習環境構築 ・社会教育及び民間企業等との調整・協議 ・公営塾設置等の設計・体制づくり ・スタッフ採用 など	学習機会の充実に向けた既存施設・既存プログラムの企画・運用 ・日常のコンテンツの設計、施設の運営 ・生徒の地域ボランティアや公民館事業への参加の調整、海外留学等の調整 ・生徒の地域活動の伴走支援 など	特定のプロジェクトの活動支援 ・生徒の地域プロジェクトにボランティアとして参加 など
	卒業生と学校や地域をつなぐ機会の設計・運営	卒業生と地域をつなぐ仕組み構築 ・卒業生の登録システム構築 など	卒業生と地域をつなぐイベント等の設計・実施 など	卒業生会メンバーとしての活動 ・卒業生会の活動への参加 など
	地域人材の発掘や育成、教育資源の収集・整理	地域における人材発掘・人材育成の制度構築 ・地域資源や課題の把握・分析 ・地域人材の学び支援や育成 ・人材バンクの構築 など	地域と高校の持続的な接点づくり ・地域への活動広報 ・地域人材の要望や意見の収集 など	学校への情報提供 ・学校への地域行事等に関する情報提供 など
協働体制における コーディネート 機能	協働の組織体制の構築・運営	協働体制の立ち上げ、長期ビジョンの策定 ・高校と地域の協働体制（コンソーシアム）等の構築 ・共通ビジョンや事業計画の策定案支援 など	協働体制の運営、事業の進捗管理 ・定例会議、ワークショップの企画・運営 ・事業進捗管理、予算管理 ・アンケート調査やデータ分析 ・関係者との調整 など	協働体制のメンバーとしての参画 ・会議への出席、意見出し ・協働活動への参画 など
	助成金、寄付金などの外部資金の獲得	新たな資金獲得先の開拓 ・寄付金や助成金などの外部資金の獲得・活用 ・関係機関との協議 など	資金獲得にかかる調整・運用 ・資金獲得にかかる書類作成 ・寄付者等との調整 など	資金獲得への教育 ・周囲への寄附集めの呼びかけ など
	外部人材の確保、外部機関との連携	地域外の外部人材・外部機関との連携の制度構築 ・大学や民間企業等と連携した新規事業の設計 ・他地域との連携・協働、国との折衝 など	地域外の外部人材の確保・活用の推進 ・大学生、社会人インターン、ボランティア、外部専門家等との連携 ・人材採用、人材募集説明会の実施 など	外部人材の紹介 ・必要に応じて外部人材の紹介 など
		コンソーシアムマネージャー（仮）		

生徒の資質・能力と地域課題解決学習及びコーディネート機能の関係

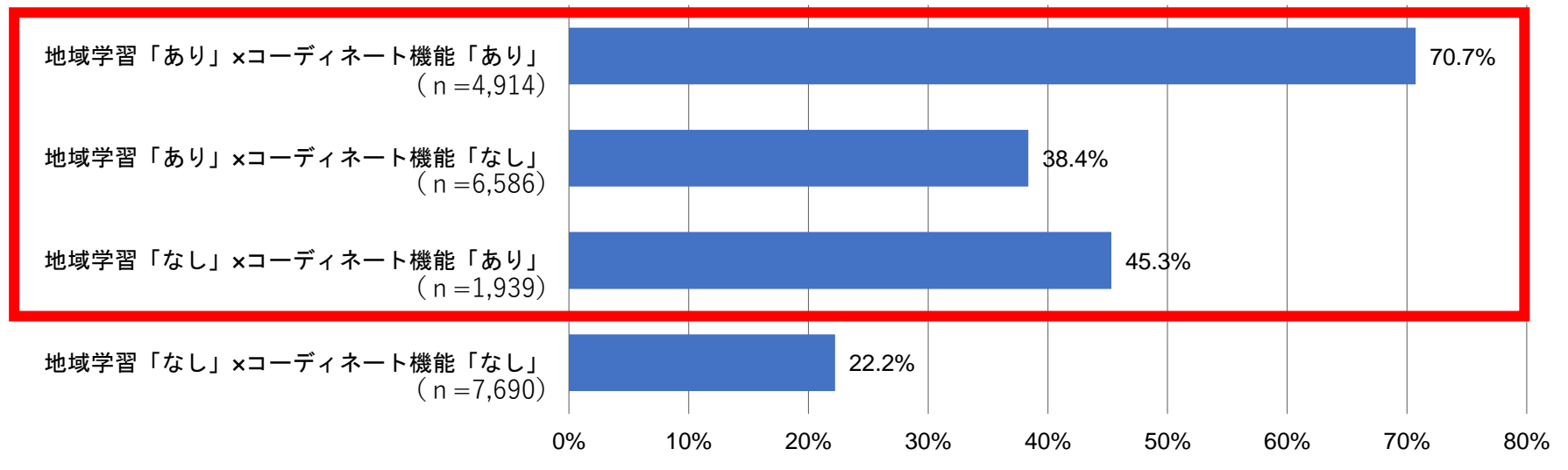
「高校と地域をつなぐ人材の在り方に関する研究会」第4回資料より

地域との協働による高等学校教育改革推進事業の**採択校・アソシエイト校**を対象に三菱UFJリサーチ&コンサルティングが実施した、**高校魅力化評価システム**のアンケートの結果を分析。

地域課題解決学習を行い、コーディネート機能がある(橋渡しをする大人がいる)場合が、最も生徒の資質・能力が上位に分布する割合が高い。

一方、地域課題解決学習を行っても、コーディネート機能がない場合、資質・能力が上位に分布する生徒の割合は、コーディネート機能はあるが、地域課題解決学習を行わない場合より、低くなっている。

地域学習の有無×コーディネート機能の有無×生徒の資質・能力(合計)



注) 「地域学習」: 「地域の課題の解決方法について考える」に「よくある」+「時々ある」=あり、「あまりない」+「ほとんどない」=なしに分類。

注) 「コーディネート機能」: 「地域の人や課題など、興味を持ったことに対してすぐに橋渡しをしてくれる大人がいる」に「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」=あり、「どちらかといえばあてはまらない」+「あてはまらない」=なしに分類。

注) 「資質・能力合計点」: 生徒の資質・能力に関する設問(26問、1(低評価)~4(高評価)の選択肢式)の合計点をz得点化(平均0、標準偏差1の得点に返還)し、0より大きい者を「上位」と定義。

注) $p < 0.001$

高校における地域社会のコーディネート人材の 配置の形態

①設置者（都道府県等） ・ 高校が配置する

- ・ 教職員（主幹教諭加配・会計年度任用職員等）
- ・ 組織委託（大学・NPO・企業・財団等）
- ・ その他（コンソーシアム・卒業生会・PTA等）

②地域（市町村等）が配置する

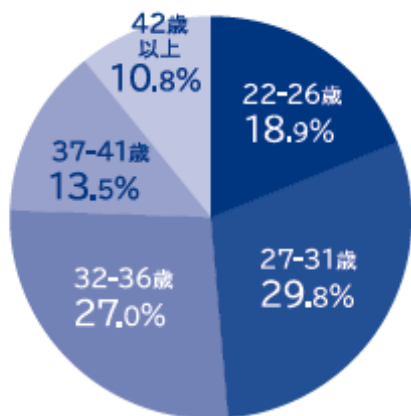
- ・ 個人募集（地域おこし協力隊等）
- ・ 組織委託（企業・NPO・大学・社会教育機関等）
- ・ 法人設立（財団・社団・NPO等）
- ・ その他

③折半する ・ 組み合わせる等

コーディネーター人材（市町村配置）の属性 島根県の事例

島根県高校魅力化コーディネーターdata（2018年10月現在）

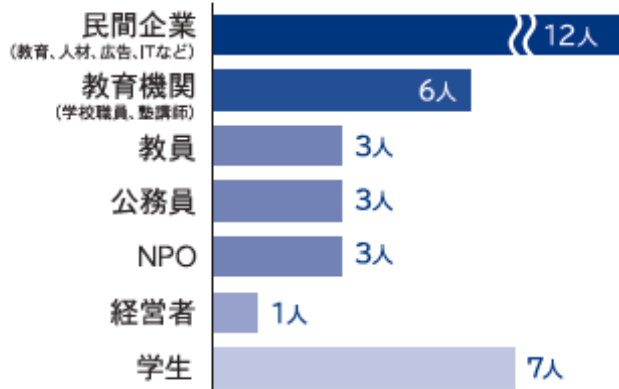
○年齢



○コーディネーター配置市町村

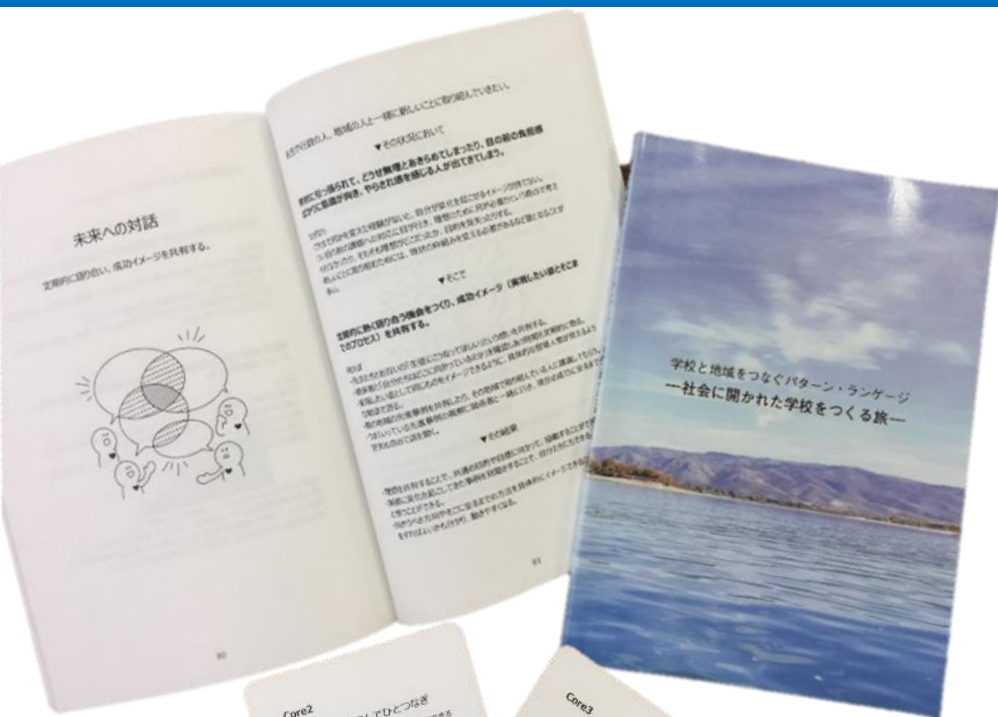


○前職



コーディネーター人材の育成に向けて

パターン・ランゲージを活用しコーディネーター人材の行動・知見を見える化(評価・育成ツール開発)



Core2

ひらいてむすんでひとつなぎ

一人で解決しようとせず、自分をひらき解決できる人をつなぐ。



パターン・ランゲージ

- ◆ 共有しにくい行動等の知見・「コツ」を言語化したもの
- ◆ 成功している事例や経験者にみられる「パターン」を抽出し、抽象化を経て言語「ランゲージ」化

コーディネータースキル向上のワークショップ例

【研修プログラム例】

◆ 初任者研修

(配置時、半年後、1年後研修等)

◆ 高校と地域社会をつなぐ

対話のワークショップ

(校内研修、行政・関係者研修等)



社会教育研修



高校魅力化コーディネーター研修



コーディネーター人材育成に向けた講習の例

オンラインを活用した地域教育魅力化コーディネーター育成コース（島根大学）

自宅や職場から学べる

社会教育主事(士)講習

地域教育魅力化コーディネーター育成コース

が島根大学で始まります。

令和2年度島根大学
社会教育主事
講習受講者募集

社会教育主事(士)講習とは…

主体的・**協働的**・**探究的**な学びを通じて

学校や地域における「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」に活かせる
マネジメント能力、コーディネート能力、ファシリテート能力を身につける講習です。

社会教育士とは…

「学びのコーディネーター」
「学びのファシリテーター」として、
社会教育行政のみならず学校や地域の様々な立場で、
社会の多様な主体と連携・協働し、
人づくりや地域づくりを推進する**学びの専門人材**です。
平成30年の文部科学省令の改正により、
令和2年度からはじまる新たな称号で、
本講習がその第一期となります。



マネジメント能力
(仕組みづくり)

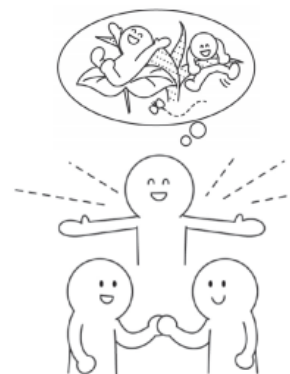
ファシリテート能力
(学びづくり)

コーディネート能力
(つながりづくり)

修了者には新たな社会教育主事の任用資格である「社会教育士」の称号と
「地域教育魅力化コーディネーター」の履修証明が付与されます。

高校と地域をつなぐ コーディネート機能の充実に向けて

—社会に開かれた教育課程と高校を核とした地方創生の実現を目指して—



島根県 高校魅力化事業

< 高校と地域社会が協働しておこなう生徒の育成 >

第Ⅰステージ

H 2 3 ~ 2 5 「高校魅力化・活性化事業」 8 / 35校

第Ⅱステージ

H 2 6 ~ 2 8 「高校魅力化・活性化事業」 8 / 35校

第Ⅲステージ

H 2 9 ~ R 1 「教育魅力化推進事業」 2 1 / 35校

第Ⅳステージ

R 2 ~ 4 「教育魅力化人づくり推進事業」 **3 5 / 35校**

事業評価の変遷

■第Ⅰ・Ⅱステージ（H23～28）「高校魅力化事業評価アンケート」

設問	対象（各校地域内）
①将来 A 高校に進学したいと思いますか	小5,6年生、中1～3年生
② A 高校に進学して良かったと思いますか	高1～3年生
③将来お子様を A 高校に進学させたいと思いますか	小5,6年生保護者 中1～3年生保護者
④お子様を A 高校に進学させて良かったと思いますか	高1～3年生保護者
⑤ A 高校は魅力があると思いますか	小5,6年生・保護者 中1～3年生・保護者 高1～3年生・保護者
⑥ A 高校は地域と連携できていると思いますか	小・中・高教職員 役場・教育委員会職員

事業評価としては活用できるが、学校マネジメントへの活用は・・・？

■各校で Q U アンケート、学校評価アンケート等

全県的な傾向か学校独自の課題か・・・？

■第Ⅲ・Ⅳステージ（H29～R4）「高校魅力化アンケート」

（三菱UFJリサーチ&コンサルティングに委託）

「主体性」「協働性」「探究性」「社会性」の4つの領域を
「学習活動」「学習環境」「自己能力認識」「行動実績」「満足度」
の5つの側面から
「時間軸」「学年軸」「地域軸」の3つの軸で整理

- 地域・社会で発揮される
生徒の資質・能力とその成長の見える化
- 高校・地域における
生徒の学習活動、学習環境の見える化

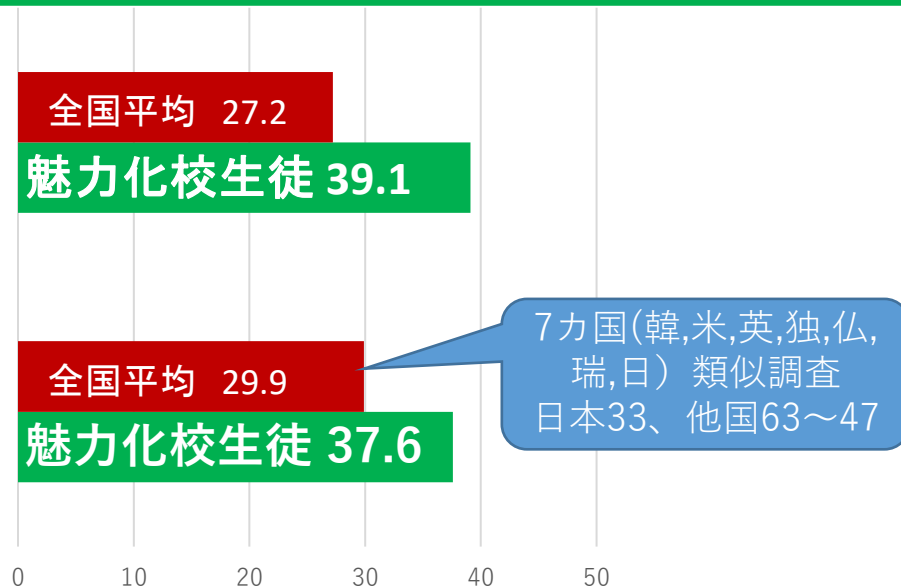
教育活動の「次の一手」の手がかり
地域との協働のあり方の検討の手がかり

日本の平均と魅力化校生徒（16校・4104人）の比較（H30年度・第Ⅲステージ2年目）

【社会意識・社会変革効力感】

関心を持ち、
解決したいと考えている
社会の課題がある

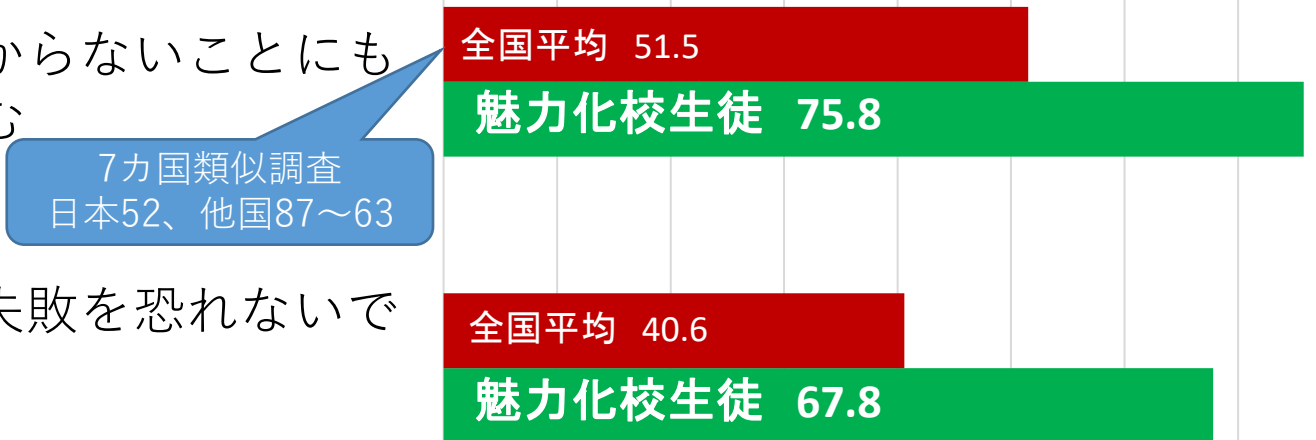
私に関わることで
変えて欲しい社会状況が
少し変えられるかもしれない



【チャレンジ精神・行動力】

うまくいくかわからないことにも
意欲的に取り組む

難しいことでも失敗を恐れなくて
挑戦している



【地域社会への参画・貢献意欲】

地域をよりよくするため、
地域における問題に関わりたい

全国平均 28.7

魅力化校生徒 54.0

将来、自分の住んでいる地域のために
役に立ちという気持ちがある

全国平均 37.7

魅力化校生徒 66.3

■第Ⅳステージ（R2～4） 「高校魅力化アンケート」

R2年度実績

- 対象 **生徒**：県立高校(全・定)全生徒16,160人
回答率83.6%（13,510人）
- 大人**：教職員、関係者 各高校ごと30人以上
合計 1,418人
- 時期 年度当初（今年度は臨時休校等あり9月末〆切）
- 方法 Web(学校PC、個人スマホ等)による回答
- 経費 県の教育魅力化事業として県費支出
- 研修 6月・9月全校研修、希望で個別研修

各校・地域での「育てる生徒像」共有,教育活動の検証・改善に活用

県の施策・事業の検証、改善に活用

魅力化アンケート検証による教育活動改善の視点

- 予想よりも「挑戦意欲」が低い
→生徒が挑戦できる場がある授業展開を考えたい。
- 「本音は発言できる」のに「自分の考えの発表は苦手」
→授業の中でディスカッションの機会を設けたい。
- 「主体性」や「他者視点」の項目が低学年で弱い
→1・2年生から地域の人などに関わる機会を増やし、生徒に刺激を与える。自分自身も、もっと生徒に問いかけしてじっくり考えさせる機会を持ちたい。
- 「友達同士では自分の意見が言える」が「改まった場では発言できない」など、自分が気付かない読み取りがあった。
→地域の素敵なオトナと触れ合い、一緒に想いを共有したり、活動できるような場面を増やしていきたい。

県立高校 魅力化ビジョン

- **課題解決型学習の全校推進**
- **全県立高校で協働コンソーシアム**
- **コーディネーター育成・配置・活用**
- **しまね留学の拡充・推進**
- **県教委における各校の伴走支援**
- **学びの成果,学校評価の改革**
- **高校入試,中高接続改革 etc.**

平成 31 年 2 月

島根県教育委員会

■ 高校魅力化コンソーシアム（高校と地域の協働体制）
 社会・地域に開かれた教育課程 + 高校を核とした地域創生

教育施策への主体的な参画
 （意見・提案等）

人材配置・予算措置・伴走支援

■ 島根県教育委員会

県立高校魅力化ビジョン

県立高校の目指す方向性の明示
 スクール・ミッションの定義

教育環境の整備
 多様な学びの保障

入学者選抜方法の改善

教育施策としての具現化

・学校の配置・規模の見直し
 ・特色ある学科・コースの設置 等

・コンソーシアムの制度化、構築の推進
 ・教職員、コーディネーターの確保・育成
 ・ICTの整備 等

・地域枠の見直し、しまね留学の推進
 ・入学者選抜の方針・方法の改善 等

（高校魅力化アンケート、
 施策・事業評価
 学力調査、学校の健康診断等）

施策・事業再確認・見直し

■ 国

新学習指導要領

社会に開かれた教育課程 主体的・対話的で深い学び

人員配置・予算措置・事業構築



GUIDE BOOK

しまね留学ガイドブック

2020



未来につながる
17歳のチャレンジ。

高校2年次の1年間を
島根の高校で学ぶ国内留学制度です。



高校へ入学



在籍高校からの転籍はしません。

しまねの高校へ
1年間留学



その高校ならではの魅力的な高校生活を送れる
よう、地域留学生を全面的にサポートします！
(留学生は留学先での生活に係る実費のみを負担)

入学した高校へ戻り
卒業

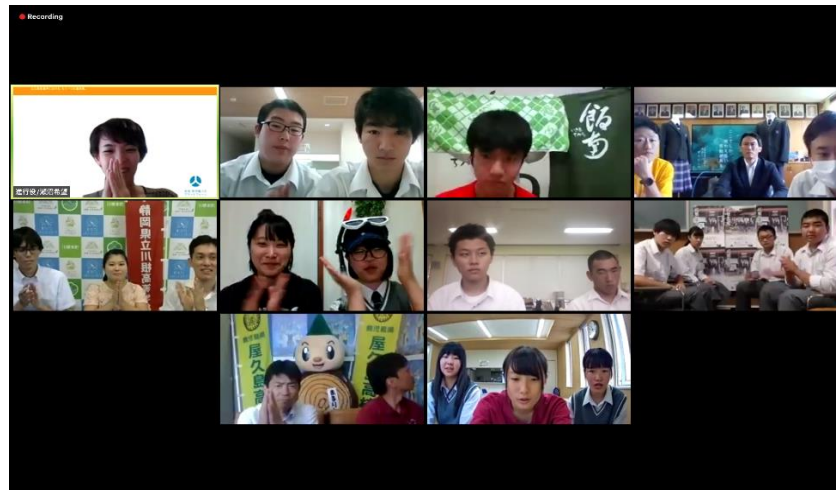
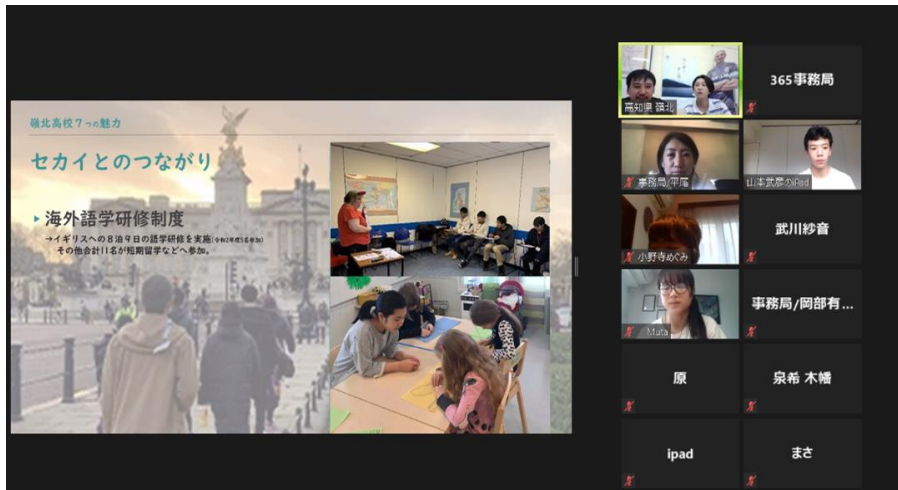


在籍高校において、留学先での学修の成果
(ボランティア活動等も含む。)について、
適切に単位認定をします。



【参考】地域みらい留学フェスタ2020

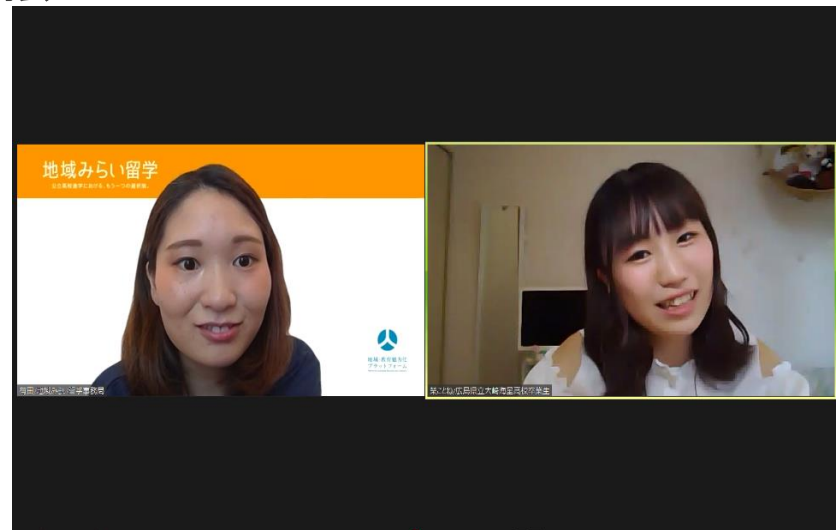
述べ3,500名の参加 ※単年留学含む（2018年1173名、2019年2093名）



学校説明会



地域みらい留学サポーター向けイベント



卒業生が語るトークイベント

【主催】地域・教育魅力化プラットフォーム、内閣府、地域みらい留学推進協議会
 【共催】島根県教育委員会 【後援】総務省、文部科学省 【協力】日本財団